

## 不登校を中心とした教育相談等について

### 1 国の考え方

不登校については、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することを目指すこととされていますが、一方で学業の遅れなどのリスクも存在するため、義務教育段階の学校の役割は大きく、学校教育の一層の充実を図ることも併せて示されています。

### 2 本校の方針

国の考え方も踏まえ、学校の果たすべき役割を認識し、実態を把握したうえで、学校としてできることは何か、最善の方法を考えていきます。学校を「みんなが安心して学べる」場所とするために、互いを認め合う受容的な集団を育て、誰にとっても居心地のよい学校風土をつくることを目指します。また、校内外の情報をお伝えすることにより心配を解消し、併せて教育環境を整備することで、安心できる学校づくりを目指していきます。加えて、対話や様々なツールを活用して、子供たちのメンタルヘルスの保持及び不登校等の未然防止にも努めます。

### 3 出席の取扱い

出欠に関して学校で記載するものとして出席簿と指導要録という2種類の帳簿がありますが、指導要録に記載する出欠が最終的なものであるとお考えください。吹田市の教育支援教室(光の森・学びの森)、校内教育支援教室(ステップルーム)に通う生徒は、指導要録上、出席とすることができます。また、フリースクール等、民間施設等に通う生徒につきましては、一定の要件が満たされる場合について同様の取扱いをすることができます。要件の内容等につきましては、個別にご相談ください。

### 4 オンライン学習

本校においては、令和3年度より、新型コロナウイルス感染症の休業等の対応としてオンライン学習を行ってまいりました。現在も2時間目と3時間目の授業につきましては、感染症で欠席している生徒だけでなく、不登校の生徒の支援に対しても活用できるよう、必要に応じて配信を行っております。また、校内教育支援教室にて、オンライン授業を受けることもできます。

## 5 評価・進路

学校外の公的機関や民間施設における学習の計画や内容が、その学校の教育課程に照らし適切と判断される場合には、当該学習の評価を適切に行ったり、伝えたりすることは、生徒の学習意欲に応え、自立を支援するうえで意義が大きいとされています。評価材料の有無を目安として、可能な範囲で評価をつけていくこととしていますが、個々の状況により対応が異なる場合もあります。また、進路選択についても、生徒・保護者の意思を尊重し、多種多様な進路先について、一緒にご相談しながら考えていきます。

## 6 校内教育支援教室(ステップルーム)

本校には2F 職員室前に校内教育支援教室(ステップルーム)があります。教室で学習活動を行うのが困難な生徒を対象とし、ステップを踏みながら教室復帰すること、社会で生きていく力を身に付けること等を目指しています。主に2時間目から4時間目まで、担当教員が対応する体制をとっています。また、スクールボランティアが来校している際には、ともに学習支援を行うようにしています。机と椅子も一新し、過ごしやすい環境づくりに努めておりますので、利用につきましては、担任までご相談ください。

## 7 未来型教育支援教室

令和6年4月に、吹田市立教育センターが南千里に建設中の吹田市総合防災センターに移転することに伴い、現在の教育支援教室「光の森」と「学びの森」を統合し、吹田市総合防災センター内に新しく教育支援教室が開設されることとなり、市民向け説明会も行われました。また、後日、市のHPにも掲載予定です。入室希望等につきましては担任までご相談ください。必要に応じて、新たな情報やスケジュールが分かり次第お知らせいたします。

## 8 未然防止・対応のためのツール

現在、吹田市内全校において実施となったデイリー健康観察(デイケン)、モデル校として取り組んでいる NiCoLi(ニコリ)、子供のための学校調査(学校風土・いじめ調査)とともに、生活アンケートや学校アンケート等により子供たちのメンタルヘルス保持に取り組んでいるところです。デイケン は毎朝行っている端末を活用した健康観察システムで、自宅で行うことも可能となっております。